

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 2002年 9月30日
Date of Application:

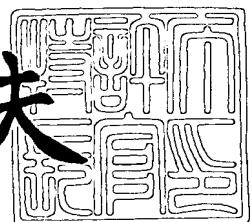
出願番号 特願2002-286001
Application Number:
[ST. 10/C] : [JP2002-286001]

出願人 セイコーホームズ株式会社
Applicant(s):

2003年 8月 6日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



Atty. Docket No. IITECP002

出証番号 出証特2003-3063166

【書類名】 特許願

【整理番号】 PNSEA138

【提出日】 平成14年 9月30日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明者】

【住所又は居所】 長野県松本市芳川村井町1059番地 エプソンダイレクト株式会社内

【氏名】 大島 康弘

【発明者】

【住所又は居所】 長野県松本市芳川村井町1059番地 エプソンダイレクト株式会社内

【氏名】 關沢 隆夫

【発明者】

【住所又は居所】 長野県松本市芳川村井町1059番地 エプソンダイレクト株式会社内

【氏名】 渋沢 泰夫

【発明者】

【住所又は居所】 長野県松本市芳川村井町1059番地 エプソンダイレクト株式会社内

【氏名】 相渡 良潔

【特許出願人】

【識別番号】 000002369

【氏名又は名称】 セイコーエプソン株式会社

【代理人】

【識別番号】 110000017

【氏名又は名称】 特許業務法人アイテック国際特許事務所

【代表者】 伊神 広行

【電話番号】 052-218-3226

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 129482

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0105216

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 サーバシステム、中古品見積システム、その方法及びそのプログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ユーザコンピュータと通信可能でありユーザから中古品を下取る際に利用される中古品見積サイトとユーザが商品を購入する際に利用されるショッピングサイトとを開設するサーバシステムであって、

前記中古品見積サイトで前記ユーザコンピュータから中古品の下取見積要求に関する情報を受信したあと前記ショッピングサイトで前記ユーザコンピュータから商品購入手続に関する情報を受信したときには、前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を進める

サーバシステム。

【請求項 2】 ユーザコンピュータと通信可能でありユーザから中古品を下取る際に利用される中古品見積サイトとユーザが商品を購入する際に利用されるショッピングサイトとを開設するサーバシステムであって、

前記ショッピングサイトで前記ユーザコンピュータから商品購入手続に関する情報を受信したあと前記中古品見積サイトで前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報の入力を要求するときには、前記中古品の下取見積要求に関する情報のうち前記商品購入手続きに関する情報と重複する情報については前記ユーザコンピュータに再入力を要求しない

サーバシステム。

【請求項 3】 ユーザコンピュータと通信可能でありユーザから中古品を下取る際に利用される中古品見積システムであって、

前記ユーザコンピュータから前記中古品の下取見積要求に関する情報を受信したとき該下取見積要求に関する情報に基づいて前記中古品の下取見積価格を決定し該中古品の下取見積価格を含む見積情報を前記ユーザコンピュータに送信する見積情報送信手段と、

前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格を前記

ユーザコンピュータが保存可能な形式で前記ユーザコンピュータに送信する保存制御手段と、

前記ユーザが商品購入の手続をしたあと前記中古品の下取手続を行う際、前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格が保存されていたときには、前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を行う下取手続実行手段と

を備えた中古品見積システム。

【請求項4】 請求項3に記載の中古品見積システムであって、

前記保存制御手段は、前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格を前記ユーザコンピュータが保存可能なクッキーとして前記ユーザコンピュータに送信する

中古品見積システム。

【請求項5】 請求項3に記載の中古品見積システムであって、

前記保存制御手段は、前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格を前記ユーザコンピュータが保存可能な形式で前記ユーザコンピュータに送信する代わりに、前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格を所定の記憶手段に保存し、

前記下取手続実行手段は、前記ユーザが商品購入手続をしたあと前記中古品の下取手続を行う際、前記所定の記憶手段に前記ユーザに対応した前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格が前記所定の記憶手段に保存されていたときには、前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を行う

中古品見積システム。

【請求項6】 請求項3～5のいずれかに記載の中古品見積システムであつて、

前記見積情報送信手段は、前記ユーザコンピュータから前記中古品の下取見積要求に関する情報として前記中古品に含まれる部品に関する情報を受信したとき、該中古品に含まれる部品に関する情報に基づいて前記中古品の下取見積価格を

決定する

中古品見積システム。

【請求項7】 請求項3～6のいずれかに記載の中古品見積システムであつて、

前記見積情報送信手段は、前記中古品の下取見積価格として該下取見積価格の最低値と最高値を決定する

中古品見積システム。

【請求項8】 ユーザコンピュータと通信可能でありユーザから中古品を下取る際に利用される中古品見積サイトとユーザが商品を購入する際に利用されるショッピングサイトとを開設するサーバの運営方法であつて、

サーバコンピュータが、前記中古品見積サイトで前記ユーザコンピュータから中古品の下取見積要求に関する情報を受信したあと前記ショッピングサイトで前記ユーザコンピュータから商品購入手続に関する情報を受信したときには、前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を進めるか、又は、

サーバコンピュータが、前記ショッピングサイトで前記ユーザコンピュータから商品購入手続に関する情報を受信したあと前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報の入力を要求するときには、前記中古品の下取見積要求に関する情報のうち前記商品購入手続きに関する情報と重複する情報については前記ユーザコンピュータに再入力を要求しない

サーバの運営方法。

【請求項9】 ユーザコンピュータと通信可能でありユーザから中古品を下取る際に利用される中古品見積方法であつて、

(a) サーバコンピュータが、前記ユーザコンピュータから前記中古品の下取見積要求に関する情報を受信したとき該下取見積要求に関する情報に基づいて前記中古品の下取見積価格を決定し該中古品の下取見積価格を含む見積情報を前記ユーザコンピュータに送信するステップと、

(b) 前記サーバコンピュータが、前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格を前記ユーザコンピュータが保存可能な形式で前記ユ

ーザコンピュータに送信するステップと、

(c) 前記ユーザが商品購入の手続をしたあと前記中古品の下取手続を行う際、前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格が保存されていたときには、前記サーバコンピュータが前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を行うステップと

を含む中古品見積方法。

【請求項10】 請求項8に記載のサーバの運営方法をサーバコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項11】 請求項9に記載の中古品見積方法の各ステップをサーバコンピュータに実行させるためのプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ユーザから中古品を下取る際に利用される中古品見積システム、その方法及びそのプログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】

最近、ユーザから中古品を下取る際の見積価格をユーザに提示するシステムが提案されている。例えば、非特許文献1には、新たに製品を購入するユーザを対象としたコンピュータ下取サービスが開示されており、ここでは、ユーザが情報入力画面にて中古コンピュータのCPU、メモリ、HDDなどの仕様に関する情報を入力したあと見積結果を要求すると、サーバ側からその中古コンピュータの下取見積金額が提示される。

【0003】

【非特許文献1】

“デルPC買取りサービス”、[online]、デルコンピュータ株式会社、[平成14年9月27日検索]、インターネット<URL:http://www.dell.com/jp/jp/dhs/topics/nsegttopic_kaitori.htm>

【0004】**【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、上述したコンピュータ下取サービスでは新たに製品を購入する手続と中古品の下取を行う手續との間で情報交換するようシステムが構築されていないため、前者の手續の際にユーザが入力すべき情報と後者の手續の際にユーザが入力すべき情報とが重複する場合であっても、いずれの手續においてもその重複した情報を入力せざるを得ず、ユーザにとって入力操作が煩雑になることがあった。

【0005】

本発明は、このような課題に鑑みなされたものであり、中古品を下取ってもらう際にユーザが何度も同じ情報を入力する必要がないサーバシステム、中古品見積システム、その方法及びそのプログラムを提供することを目的とする。

【0006】**【課題を解決するための手段及びその作用・効果】**

上述の目的を達成するため、本発明は以下の手段を採用した。

【0007】

本発明の一つは、ユーザコンピュータと通信可能でありユーザから中古品を下取る際に利用される中古品見積サイトとユーザが商品を購入する際に利用されるショッピングサイトとを開設するサーバシステムであって、

前記中古品見積サイトで前記ユーザコンピュータから中古品の下取見積要求に関する情報を受信したあと前記ショッピングサイトで前記ユーザコンピュータから商品購入手続に関する情報を受信したときには、前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を進めるものである。

【0008】

このサーバシステムでは、ショッピングサイトでユーザコンピュータから商品購入手続に関する情報を受信する前に中古品見積サイトでそのユーザコンピュータから中古品の下取見積要求に関する情報を受信することがあることを考慮し、その場合にはショッピングサイトで商品購入手続に関する情報を受信したあとそ

のユーザコンピュータに中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を進める。したがって、ユーザは中古品を下取ってもらう際に何度も同じ情報を入力する必要がなく煩雑さを感じない。

【0009】

本明細書で、「中古品の下取」とは、ユーザが新たに商品を購入するのを条件にシステム側が中古品を引き取ることをいう。また、「中古品」とは、新品でない品物をいい、例えば新品を何度か使用した品物や新品を使用せず月日が経過した品物などをいう。更に、「商品購入手続に関する情報」とは、例えば購入希望商品を特定する情報や、購入者の住所・氏名や、商品の配送先住所などをいい、「中古品の下取見積要求に関する情報」とは、例えば中古品の商品名とか中古品を構成する部品名などの中古品の下取見積価格を決定する際に必要となる情報や、下取依頼者の住所・氏名や、中古品のピックアップ先住所などをいう。

【0010】

本発明の一つは、ユーザコンピュータと通信可能でありユーザから中古品を下取る際に利用される中古品見積サイトとユーザが商品を購入する際に利用されるショッピングサイトとを開設するサーバシステムであって、

前記ショッピングサイトで前記ユーザコンピュータから商品購入手続に関する情報を受信したあと前記中古品見積サイトで前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報の入力を要求するときには、前記中古品の下取見積要求に関する情報のうち前記商品購入手続に関する情報と重複する情報については前記ユーザコンピュータに再入力を要求しないものである。

【0011】

このサーバシステムでは、ショッピングサイトでユーザコンピュータから商品購入手続に関する情報を受信したあと中古品見積サイトでユーザコンピュータに中古品の下取見積要求に関する情報の入力を要求するときには、中古品の下取見積要求に関する情報のうち商品購入手続きに関する情報と重複する情報については再入力を要求しない。したがって、ユーザは中古品を下取ってもらう際に何度も同じ情報を入力する必要がなく煩雑さを感じない。

【0012】

本発明の一つは、ユーザコンピュータと通信可能でありユーザから中古品を下取る際に利用される中古品見積システムであって、

前記ユーザコンピュータから前記中古品の下取見積要求に関する情報を受信したとき該下取見積要求に関する情報に基づいて前記中古品の下取見積価格を決定し該中古品の下取見積価格を含む見積情報を前記ユーザコンピュータに送信する見積情報送信手段と、

前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格を前記ユーザコンピュータが保存可能な形式で前記ユーザコンピュータに送信する保存制御手段と、

前記ユーザが商品購入の手続をしたあと前記中古品の下取手続を行う際、前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格が保存されていたときには、前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を行う下取手続実行手段と

を備えたものである。

【0013】

この中古品見積システムでは、ユーザコンピュータから中古品の下取見積要求に関する情報を受信したとき該下取見積要求に関する情報に基づいて中古品の下取見積価格を決定し該中古品の下取見積価格を含む見積情報をそのユーザコンピュータに送信する。また、中古品の下取見積要求に関する情報又は中古品の下取見積価格をそのユーザコンピュータが保存可能な形式で送信する。そして、そのユーザが商品購入の手続をしたあと中古品の下取手続を行う際、そのユーザコンピュータに中古品の下取見積要求に関する情報又は中古品の下取見積価格が保存されていたときには、そのユーザコンピュータに中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を行う。したがって、ユーザは中古品を下取ってもらう際に何度も同じ情報を入力する必要がなく煩雑さを感じない。

【0014】

ここで、保存制御手段は、中古品の下取見積要求に関する情報及び中古品の下取見積価格の少なくとも一方をユーザコンピュータが保存可能な形式でユーザコ

ンピュータに送信すればよい。また、下取手続実行手段は、ユーザコンピュータに中古品の下取見積要求に関する情報が保存されていたときにはその情報に基づいて中古品の下取見積価格を再決定してもよい。

【0015】

このとき、前記保存制御手段は、前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格を前記ユーザコンピュータが保存可能なクッキーとして前記ユーザコンピュータに送信してもよい。こうすれば、このシステムを比較的容易に実現できる。

【0016】

本発明の中古品見積システムにおいて、前記保存制御手段は、前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格を前記ユーザコンピュータが保存可能な形式で前記ユーザコンピュータに送信する代わりに、前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格を所定の記憶手段に保存し、前記下取手続実行手段は、前記ユーザが商品購入手続をしたあと前記中古品の下取手続を行う際、前記所定の記憶手段に前記ユーザに対応した前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格が前記所定の記憶手段に保存されていたときには、前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を行ってもよい。この場合も、ユーザは中古品を下取ってもらう際に何度も同じ情報を入力する必要がなく煩雑さを感じない。また、中古品の下取見積要求に関する情報又は中古品の下取見積価格をユーザコンピュータに保存させるのに比べて、システム側が保存するため情報の管理をしやすい。

【0017】

本発明の中古品見積システムにおいて、前記見積情報送信手段は、前記ユーザコンピュータから前記中古品の下取見積要求に関する情報として前記中古品に含まれる部品に関する情報を受信したとき、該中古品に含まれる部品に関する情報に基づいて前記中古品の下取見積価格を決定してもよい。こうすれば、中古品に含まれる部品に応じて下取の価値を判断することができる。

【0018】

本発明の中古品見積システムにおいて、前記見積情報送信手段は、前記中古品の下取見積価格として該下取見積価格の最低値と最高値を決定してもよい。こうすれば、ユーザとしては少なくとも最低値で下取ってくれることがわかるし中古品の状態がよければ最高値で下取ってくれる可能性もあるため、これら最低値と最高値に基づいて下取に出すか否かを決断しやすい。

【0019】

本発明の一つは、ユーザコンピュータと通信可能でありユーザから中古品を下取る際に利用される中古品見積サイトとユーザが商品を購入する際に利用されるショッピングサイトとを開設するサーバの運営方法であって、サーバコンピュータが、前記中古品見積サイトで前記ユーザコンピュータから中古品の下取見積要求に関する情報を受信したあと前記ショッピングサイトで前記ユーザコンピュータから商品購入手続に関する情報を受信したときには、前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を進めるか、又は、サーバコンピュータが、前記ショッピングサイトで前記ユーザコンピュータから商品購入手続に関する情報を受信したあと前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報のうち前記商品購入手続きに関する情報と重複する情報については前記ユーザコンピュータに再入力を要求しないものである。

【0020】

このサーバ運営方法では、ショッピングサイトでユーザコンピュータから商品購入手続に関する情報を受信する前に中古品見積サイトでそのユーザコンピュータから中古品の下取見積要求に関する情報を受信することがあることを考慮し、その場合にはショッピングサイトで商品購入手続に関する情報を受信したあとそのユーザコンピュータに中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を進める。あるいは、ショッピングサイトでユーザコンピュータから商品購入手続に関する情報を受信したあと中古品見積サイトでユーザコンピュータに中古品の下取見積要求に関する情報の入力を要求するときには、中古品の下取見積要求に関する情報のうち商品購入手続きに関する情報と重複する情

報については再入力を要求しない。したがって、いずれにしても、ユーザは中古品を下取ってもらう際に何度も同じ情報を入力する必要がなく煩雑さを感じない。なお、本発明におけるサーバコンピュータは、1台ですべての手順を実行してもよいし、複数台で手順を分担して実行してもよい。

【0021】

本発明の一つは、ユーザコンピュータと通信可能でありユーザから中古品を下取る際に利用される中古品見積方法であって、

(a) サーバコンピュータが、前記ユーザコンピュータから前記中古品の下取見積要求に関する情報を受信したとき該下取見積要求に関する情報に基づいて前記中古品の下取見積価格を決定し該中古品の下取見積価格を含む見積情報を前記ユーザコンピュータに送信するステップと、

(b) 前記サーバコンピュータが、前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格を前記ユーザコンピュータが保存可能な形式で前記ユーザコンピュータに送信するステップと、

(c) 前記ユーザが商品購入の手続をしたあと前記中古品の下取手続を行う際、前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格が保存されていたときには、前記サーバコンピュータが前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を行うステップと

を含むものである。

【0022】

この中古品見積方法では、ユーザコンピュータから中古品の下取見積要求に関する情報を受信したとき該下取見積要求に関する情報に基づいて中古品の下取見積価格を決定し該中古品の下取見積価格を含む見積情報をそのユーザコンピュータに送信する。また、中古品の下取見積要求に関する情報又は中古品の下取見積価格をそのユーザコンピュータが保存可能な形式で送信する。そして、そのユーザが商品購入の手続をしたあと中古品の下取手続を行う際、そのユーザコンピュータに中古品の下取見積要求に関する情報又は中古品の下取見積価格が保存されていたときには、そのユーザコンピュータに中古品の下取見積要求に関する情報

の再入力を要求することなく下取手続を行う。したがって、ユーザは中古品を下取ってもらう際に何度も同じ情報を入力する必要がなく煩雑さを感じない。なお、本発明におけるサーバコンピュータは、1台ですべての手順を実行してもよいし、複数台で手順を分担して実行してもよい。

【0023】

この中古品見積方法において、前記ステップ（b）では、前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格を前記ユーザコンピュータが保存可能な形式で前記ユーザコンピュータに送信する代わりに、前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格を所定の記憶手段に保存し、前記ステップ（c）では、前記ユーザが商品購入手続をしたあと前記中古品の下取手続を行う際、前記所定の記憶手段に前記ユーザに対応した前記中古品の下取見積要求に関する情報又は前記中古品の下取見積価格が前記所定の記憶手段に保存されていたときには、前記ユーザコンピュータに前記中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を行ってもよい。

【0024】

本発明の一つは、上述のサーバの運営方法をサーバコンピュータに実行させるためのプログラム、又は、上述の中古品見積方法の各ステップをサーバコンピュータに実行させるためのプログラムである。このプログラムは、コンピュータが読み取り可能な記録媒体（例えばハードディスク、ROM、FD、CD、DVDなど）に記録されていてもよいし、伝送媒体（インターネットやLANなどの通信網）を介してあるコンピュータから別のコンピュータへ配信されてもよいし、その他どのような形で授受されてもよい。このプログラムをサーバコンピュータに実行させれば、サーバコンピュータは上述のサーバの運営方法を実行したり上述の中古品見積方法の各ステップを実行したりするため、上述のサーバの運営方法と同様の作用効果あるいは上述の中古品見積方法と同様の作用効果が得られる。なお、本発明におけるサーバコンピュータは、1台ですべての手順を実行してもよいし、複数台で手順を分担して実行してもよい。

【0025】

【発明の実施の形態】

次に、本発明の実施の形態を図面に基づいて説明する。図1は本発明のサーバシステム10の概略構成を表す説明図、図2はデータベースサーバのデータ記憶装置に記憶された各種データベースの説明図である。

【0026】

本実施形態のサーバシステム10は、ウェブサーバ12と、データベースサーバ14とで構成され、それぞれネットワークケーブル18によって通信可能に接続されている。なお、本明細書において「下取」とは、商品の購入を伴って中古品を引き取ることをいう。

【0027】

ウェブサーバ12は、記憶部13に記憶された各種プログラムを実行することにより、ユーザが所有する中古のパーソナルコンピュータを下取る際の下取見積により、価格を提示する中古品見積サイトを開設するサーバとして機能したり、新品のパーソナルコンピュータの販売を行うショッピングサイトを開設するサーバとして機能したりする。このウェブサーバ12は、インターネット20を介して接続されたユーザコンピュータ40の要求窓口となるサーバであり、ユーザコンピュータ40から受信した要求内容に応じて自ら応答内容を作成してユーザコンピュータ40へ送信したり、ユーザコンピュータ40から受信した見積必要情報をデータベースサーバ14に渡してデータベースサーバ14に下取見積価格を演算させその演算結果を受け取りその演算結果から応答内容を作成してユーザコンピュータ40へ送信したりする機能などを有している。なお、見積必要情報とは、中古のパーソナルコンピュータを構成する構成部品の種類や性能などに関する情報であるが、詳しくは後述する。

【0028】

データ記憶装置16は、データベースサーバ14に接続され、図2に示すように、パーソナルコンピュータの構成部品の部品名と種類と価格とをそれぞれ対応付けた部品価格テーブルを記憶している。パーソナルコンピュータの構成部品につき、部品名としてはCPU、メモリ、HDD、FDD、CD-ROM、LANカード、マニュアル、梱包箱などがあり、このうち、CPUはプロセッサ名とクロック周波数によって種類が決められその種類ごとに価格が決められており、メ

モリやHDDは容量によって種類が決められその種類ごとに価格が決められている。なお、図示しないが、CD-ROMは機能（DVDの読み取り可とか書き込み可など）によって種類が決められその種類ごとに価格が決められ、FDDやLANカードやマニュアルや梱包箱は種類の代わりに有か無に対応して価格が決められている。

【0029】

データベースサーバ14は、データ記憶装置16に接続され、ユーザコンピュータ40からウェブサーバ12を経由して受信したパーソナルコンピュータの見積必要情報に基づいてデータ記憶装置16を検索し、各構成部品の中古価格の総額を下取見積価格の最高値Pmaxとして演算し、ウェブサーバ12へ渡す機能などを有している。

【0030】

ユーザコンピュータ40は、個人又は法人が使用する周知の汎用パーソナルコンピュータであり、インストールされたウェブブラウザによりインターネット20を介してウェブサーバ12が開設する中古品見積サイトやショッピングサイトにアクセス可能である。また、ユーザコンピュータ40は、種々の画面情報をディスプレイ42に表示する。

【0031】

次に、本実施形態のサーバシステム10の動作のうち中古品見積サイトとして機能するときの動作について説明する。図3は、ウェブサーバ12とデータベースサーバ14とユーザコンピュータ40の通信の様子を時系列的に表した説明図である。

【0032】

まず、ユーザがユーザコンピュータ40のウェブブラウザを立ち上げてウェブサーバ12が開設する中古品見積サイトのURL（ユニフォーム・リソース・ロケータ）を入力する。すると、ユーザコンピュータ40は、中古品見積サイトのトップページの取得要求をインターネット20を介してウェブサーバ12へ送信する（ステップS100）。これを受信したウェブサーバ12は、中古品見積サイトのトップページ画面をインターネット20を介してユーザコンピュータ40

へ送信し（ステップS110）、これを受信したユーザコンピュータ40は図示しない中古品見積サイトのトップページ画面をディスプレイ42に表示する。

【0033】

次いで、ユーザは、そのトップページ画面に設けられている下取見積要求ボタンをクリックする。すると、ユーザコンピュータ40は、下取見積要求をインターネット20を介してウェブサーバ12へ送信する（ステップS120）。これを受信したウェブサーバ12は、見積必要情報入力画面をインターネット20を介してユーザコンピュータ40へ送信し（ステップS130）、これを受信したユーザコンピュータ40は、見積必要情報入力画面をディスプレイ42に表示する。ここで、見積必要情報とは、パーソナルコンピュータの中古品の下取見積に必要な情報であり、具体的にはパーソナルコンピュータの構成部品に関する情報である。図4は見積必要情報入力画面の一例である。ここでは、C P Uについてはプロセッサ名とクロック周波数、メモリやH D Dについては容量、C D - R O Mについては機能（D V Dの読み取り可とか書き込み可など）、F D DやL A Nカードやマニュアルや梱包箱についてはその有無を、プルダウンメニューによって選択し入力する。

【0034】

次いで、ユーザは、見積必要情報入力画面の各構成部品に関する情報を入力し、同画面に設けられた「O K」ボタン（図4参照）をクリックする。すると、ユーザコンピュータ40は、見積必要情報をインターネット20を介してウェブサーバ12へ送信する（ステップS140）。これを受信したウェブサーバ12は、データベースサーバ14に対して見積必要情報と共に下取見積価格の要求信号を送信する（ステップS150）。すると、これを受信したデータベースサーバ14は、見積必要情報に基づいてデータ記憶装置16に記憶された部品価格テーブル（図2参照）を参照して下取見積価格の最高値P_{m a x}を算出する。具体的には、C P Uのプロセッサ名とクロック周波数に対応付けられた価格、メモリの容量に対応付けられた価格、H D Dの容量に対応付けられた価格などを図2に例示した部品価格テーブルから読み出し、数1式に示すように、これらの部品価格の総額を下取見積価格の最高値P_{m a x}として算出する。

【0035】**【数1】**

P_{m a x} = Σ (部品価格)

【0036】

このようにして下取見積価格の最高値 P_{m a x} を算出したあと、データベースサーバ14は、その下取見積価格の最高値 P_{m a x} をウェブサーバ12へ送信する（ステップS160）。すると、これを受信したウェブサーバ12は、データベースサーバ14から受け取った下取見積価格の最高値 P_{m a x} に基づいて下取見積価格の最低値 P_{m i n} を決定し、下取説明文と、下取見積価格の最低値 P_{m i n}・最高値 P_{m a x} と、下取ボタン・キャンセルボタンとを含む見積画面を作成し、この見積画面をユーザコンピュータ40へ送信する（ステップS170）。この時、下取見積価格の最低値 P_{m i n}・最高値 P_{m a x} とステップS140でユーザコンピュータ40から受け取った見積必要情報を含むクッキー情報を見積画面に添付してユーザコンピュータ40へ送信する。これを受信したユーザコンピュータ40はディスプレイ42にその見積画面を表示すると共に、クッキー情報をユーザコンピュータ40内の所定の記憶領域に保存する。ここで、ディスプレイ42に表示される見積画面の一例を図5に示す。なお、下取説明文とは、下取り価格は新たに商品を購入したときに今回の中古品を引き取る際の見積価格であること、正常に動作しない中古品は下取の対象外であること、最終的な下取価格は中古品の査定をシステム側が行った上で最低値から最高値までの範囲内で決定されること、中古品の所有権はシステム側に到着した時点でシステム側に移転されること等の説明文をいう（図5の「※注意事項」参照）。

【0037】

ユーザは、見積画面の注意事項を読んでその内容を認識した上で、下取を希望する場合には「下取希望」ボタンをクリックし、下取を希望しない場合には「キャンセル」ボタンをクリックする。すると、ユーザコンピュータ40は、「下取希望」ボタンがクリックされたときには下取要求を、「キャンセル」ボタンがクリックされたときにはキャンセル要求をインターネット20を介してウェブサーバ12へ送信する（ステップS180）。すると、これを受信したウェブサーバ

12は、受信した信号が下取希望だったときには新たに商品を購入することでの
きるショッピングサイトのトップページ画面をユーザコンピュータ40へ送信し
、受信した信号がキャンセル要求だったときには中古品見積サイトのトップペー
ジ画面をユーザコンピュータ40へ送信する（ステップS190）。

【0038】

次に、本実施形態のサーバシステム10の動作のうちショッピングサイトとし
て機能するときの動作について説明する。図6は、ウェブサーバ12とデータベ
ースサーバ14とユーザコンピュータ40の通信の様子を時系列的に表した説明
図である。ここでは、ユーザは上述したように既に中古品見積サイトで中古のパ
ーソナルコンピュータの見積を行い、ステップS180で「下取希望」ボタンを
クリックし、ステップS190でショッピングサイトのトップページ画面がユー
ザコンピュータ40へ送信されたものとして説明する。

【0039】

ユーザは、図示しないショッピングサイトのトップページ画面に設けられてい
るコンピュータ製品群の中から気に入った製品を選び、それをショッピングカ
ートに入れ、また、気に入った製品が複数ある場合にはそれらをすべてショッピ
ングカートに入れる。この間の通信の様子については説明を省略するが、適宜、ユ
ーザコンピュータ40とウェブサーバ12との間で要求・応答が繰り返される。
そして、ユーザが図示しない購入手続ボタンをクリックすると、ユーザコンピュ
ータ40はショッピングカートに入っている製品の購入要求をインターネット2
0を介してウェブサーバ12へ送信する（ステップS320）。このとき、ユー
ザコンピュータ40は、ステップS170でウェブサーバ12から取得したクッ
キー情報を購入要求に添付してウェブサーバ12へ送信する。すると、これを受
信したウェブサーバ12は、クッキー情報を記憶部13に保存すると共に、この
クッキー情報に含まれる下取見積価格の最低値P_{m i n}・最高値P_{m a x}や見積
必要情報（下取対象の中古のパーソナルコンピュータの構成部品に関する情報）
に基づいて下取確認画面を作成し、これをインターネット20を介してユーザコ
ンピュータ40へ送信する（ステップS330）。このときの下取確認画面の一
例を図7に示す。この下取確認画面には、下取見積価格の最低値P_{m i n}・最高

値 P_{max} と、下取対象品と、下取説明文と、下取ボタン・キャンセルボタンとが含まれている。なお、ここでの下取説明文は図5の見積画面における下取説明文と同じである。また、下取対象品の欄には、見積必要情報の一部又は全部が表示されており、具体的にはCPUについてはプロセッサ名とクロック周波数、メモリやHDDについては容量といった具合に表示されている。

【0040】

ユーザは、下取確認画面の内容を確認した上で、下取を希望する場合には「下取希望」ボタンをクリックし、下取を希望しない場合には「キャンセル」ボタンをクリックする。ユーザは既に中古品見積サイトにおいて「下取希望」ボタンをクリックしているため、多くの場合、ここでも「下取希望」ボタンをクリックする。このため、以下には「下取希望」ボタンがクリックされた場合について説明する。ユーザコンピュータ40は、「下取希望」ボタンがクリックされたときには下取要求をインターネット20を介してウェブサーバ12へ送信する（ステップS340）。下取要求を受信したウェブサーバ12は、購入必要情報入力画面をインターネット20を介してユーザコンピュータ40へ送信する（ステップS350）。すると、ユーザコンピュータ40は、その入力画面をディスプレイ42に表示する。このときの購入必要情報入力画面の一例を図8に示す。ここで、購入必要情報とは、ユーザの住所、氏名、電話番号やショッピングサイトで購入した商品の配送先住所、配送先電話番号、配送日時や料金の支払方法などの情報である。なお、商品の配送先住所がユーザの住所と一致している場合には、図8の画面における「商品の配送先住所=ユーザの住所？」の欄に設けられた「はい」のラジオボタンをクリックすれば、商品の配送先住所と配送先電話番号の入力は不要となる。ユーザは、この購入必要情報入力画面にて必要な事項を入力したあと、「送信」ボタンをクリックする。すると、ユーザコンピュータ40は、入力された情報をウェブサーバ12へ送信する（ステップS360）。

【0041】

これを受信したウェブサーバ12は、続いて、下取必要情報入力画面をユーザコンピュータ40に送信する（ステップS370）。すると、ユーザコンピュータ40は、その入力画面をディスプレイ42に表示する。このときの下取必要情

報入力画面の一例を図9に示す。ここで、下取必要情報とは、中古品のピックアップ先住所、ピックアップ先電話番号、ピックアップ日時、下取価格の送金先などの情報である。なお、中古品のピックアップ先住所が商品の配送先住所かユーザの住所と一致している場合には、図9の画面における「中古品のピックアップ先住所＝ユーザの住所？」の欄に設けられた「はい」のラジオボタンか「中古品のピックアップ先住所＝商品の配送先住所？」の欄に設けられた「はい」のラジオボタンをクリックすれば、中古品のピックアップ先住所とピックアップ先電話番号の入力は不要となる。ユーザは、この下取必要情報入力画面にて必要な事項を入力したあと、「送信」ボタンをクリックする。すると、ユーザコンピュータ40は、入力された情報をウェブサーバ12へ送信する（ステップS380）。これを受信したウェブサーバ12は、ユーザコンピュータ40に謝辞メッセージを送信し（ステップS390）、この商品購入サイトでの処理を終了する。

【0042】

この後、サーバシステム10側では、ユーザから今回購入した商品の料金の支払いを受け取ると共にその商品を配送先住所へ配送し、また、ユーザが下取を希望していた場合には下取対象品である中古のパーソナルコンピュータをピックアップしてシステム側で査定を行い、査定結果に基づいて下取見積価格の最低値P_{min}から最高値P_{max}の範囲内で下取価格を確定し、その下取価格をユーザに送金する。

【0043】

ここで、本実施形態の構成要素と本発明の構成要素との対応関係を明らかにする。本実施形態のウェブサーバ12及びデータベースサーバ14が本発明の見積画面送信手段に相当し、ウェブサーバ12が保存制御手段及び下取実行手段に相当する。また、本実施形態の見積画面が本発明の見積情報に相当する。

【0044】

以上詳述した本実施形態のサーバシステム10では、ユーザは中古品を下取つてもらう際に何度も同じ情報を入力する必要がなく煩雑さを感じない。ここで、中古のパーソナルコンピュータの下取はユーザが新たに商品を購入することが前提となるため、ユーザが商品の購入手続をしたあとに中古品の下取見積要求を行

うようにしてもよいが、本実施形態では商品の購入手続をする前にユーザが中古品の下取見積要求を行っていたときにはそのときの下取見積価格や見積必要情報を利用することによりユーザが再度中古品の下取見積要求や見積必要情報を入力する手間を不要としている。

【0045】

また、既にユーザが下取見積要求したあとはウェブサーバ12はユーザコンピュータ40に保存されていたクッキー情報を読み出すだけで下取見積価格や見積必要情報が得られるため、システム側の処理負担が軽くなる。

【0046】

更に、中古品に含まれる部品に関する情報に基づいて下取見積価格を決定するため、中古品に含まれる部品に応じて下取の価値を判断することができる。更にまた、中古品の見積価格として該見積価格の最低値と最高値を提示することから、ユーザとしては少なくとも最低値で下取ってくれることがわかるし中古品の状態がよければ最高値で下取ってくれる可能性もあり、これら最低値と最高値に基づいて下取に出すか否かを決断しやすい。

【0047】

なお、本発明は上述した実施形態に何等限定されるものではなく、種々の形態で実施し得ることはいうまでもない。

【0048】

例えば、上述した実施形態では、サーバシステム10は、中古品見積サイトでユーザコンピュータ40から中古品の下取見積要求に関する情報を受信したあとショッピングサイトでユーザコンピュータ40から商品購入手続に関する情報を受信したときについて説明したが、これとは逆に、ショッピングサイトでユーザコンピュータ40から商品購入手続に関する情報を受信したあと中古品見積サイトでユーザコンピュータ40に中古品の下取見積要求に関する情報の入力を要求することもある。このときの様子を図10に示す。図10では、まず、ユーザがウェブブラウザにショッピングサイトのURLを入力すると、ユーザコンピュータ40は、ショッピングサイトのトップページの取得要求をインターネット20を介してウェブサーバ12へ送信する（ステップS300）。これを受信したウ

エブサーバ12は、ショッピングサイトのトップページ画面をユーザコンピュータ40へ送信し（ステップS310）、これを受信したユーザコンピュータ40はショッピングサイトのトップページ画面をディスプレイ42に表示する。そして、ユーザが購入希望商品をショッピングカートに入れた後図示しない購入手続ボタンをクリックすると、ユーザコンピュータ40はショッピングカートに入っている商品の購入要求（クッキーなし）をインターネット20を介してウェブサーバ12へ送信する（ステップS320）。すると、これを受信したウェブサーバ12は、購入必要情報入力画面をインターネット20を介してユーザコンピュータ40へ送信し（ステップS350）、その後、ユーザコンピュータ40から購入必要情報を受信する（ステップS360）が、これらについては上述した実施形態で既に述べたので説明を省略する。以上がショッピングサイトとしての処理である。続いて、ウェブサーバ12は、中古品見積サイトとしての処理を行うが、ステップS110からステップS180までは上述した実施形態で既に述べたので説明を省略する。但し、ここではステップS170でクッキー情報を添付していない。また、ステップS180ではウェブサーバ12は下取要求を受信するものとする。その後、ウェブサーバ12は、下取必要情報入力画面をユーザコンピュータ40に送信し（ステップS370）、その後、ユーザコンピュータ40から下取必要情報を受信し（ステップS380）、謝辞メッセージをユーザコンピュータ40に送信する（ステップS390）が、これらについては上述した実施形態で既に述べたので説明を省略する。ここでも、中古品のピックアップ先住所が商品の配送先住所かユーザの住所と一致している場合には、図9の下取必要情報入力画面における「中古品のピックアップ先住所＝ユーザの住所？」の欄に設けられた「はい」のラジオボタンか「中古品のピックアップ先住所＝商品の配送先住所？」の欄に設けられた「はい」のラジオボタンをクリックすれば、中古品のピックアップ先住所とピックアップ先電話番号の入力は不要となる。この中古品のピックアップ先住所等は下取見積要求に関する情報であり、ユーザの住所や商品の配送先住所は商品購入手続に関する情報であるが、両者のうち重複する情報についてはユーザは再入力を要求されない。したがって、ユーザは中古品を下取ってもらう際に何度も同じ情報を入力する必要がなく煩雑さを感じない。

【0049】

また、上述した実施形態では、ウェブサーバ12は下取見積価格の最低値 P_{min} ・最高値 P_{max} とユーザコンピュータ40から受け取った見積必要情報を含むクッキー情報をユーザコンピュータ40に送信したが、これに代えて次のようにしてもよい。即ち、ウェブサーバ12は、その下取見積価格と見積必要情報とに対応付けて見積IDを付し、この見積IDと下取見積価格と見積必要情報を含む見積画面を作成したあと、その見積画面に対して見積IDを付してウェブサーバ12の記憶部13に保存する。また、ショッピングサイトの購入要求時の画面には見積ID入力欄が設けられており、ユーザがショッピングサイトに入る前に中古品見積サイトで下取見積価格を得ている場合にはその見積ID入力欄に見積IDを入力したうえで購入要求を行う。すると、ユーザコンピュータ40は、商品の購入要求と共に見積IDをインターネット20を介してウェブサーバ12へ送信し、これを受信したウェブサーバ12は、記憶部13内を検索して見積IDに対応する下取見積価格と見積必要情報を読み出し、下取確認画面（図7参照）を作成する。この場合にも、上述した実施形態と同様の作用工かがられる。また、ウェブサーバ12の記憶部13に下取見積価格と見積必要情報とが保存されるため、ウェブサーバ12はこれらの情報の管理がしやすくなる。

【0050】

更に、上述した実施形態では、中古のパーソナルコンピュータの各構成部品の価格を部品価格テーブルから読み出しその部品価格の総額を下取見積価格の最高値 P_{max} としたが、この部品価格の総額を下取見積価格の最低値 P_{min} としてこの最低値 P_{min} に基づいて最高値 P_{max} を求めてよい。あるいは、各部品ごとに下取時の価格の最高値と最低値をテーブル化しておき、下取見積価格の最高値 P_{max} は部品価格の最高値の総額とし、下取見積価格の最低値 P_{min} は部品価格の最低値の総額として求めてよい。あるいは、下取見積価格の最低値 P_{min} と最高値 P_{max} を求めたが、下取見積価格に幅を持たせず一定額として求めてよい。

【0051】

更にまた、上述した実施形態では、パーソナルコンピュータの中古品について

説明したが、ディスプレいやプリンタやスキャナなどのパソコン用コンピュータの周辺機器の中古品や、コピー機、ファクシミリ装置、シュレッダなどのOA機器の中古品や、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジなどの一般家電製品の中古品や、自動車、自動二輪車、自転車、ボートなどの乗り物の中古品や、ゴルフクラブ、テニスラケット、スキー板、スノーボードなどのスポーツ品の中古品や、マンション、一戸建てなどの中古物件など種々の中古品についても本発明を適用してもよい。

【0052】

そしてまた、上述した実施形態では、サーバシステム10をウェブサーバ12とデータベースサーバ14の2つのサーバで構成したが、データベースサーバ14の機能をウェブサーバ12に持たせることにより1つのサーバで構成してもよいし、3つ以上のサーバで構成してもよい。あるいは、中古品見積サイトを開設するサーバシステムとショッピングサイトを開設するサーバシステムとを別々に設けて、両サーバシステムを併せて本発明のサーバシステムとしてもよい。

【図面の簡単な説明】

- 【図1】 本実施形態のサーバシステムの概略構成を表す説明図である。
- 【図2】 データ記憶装置に記憶された部品価格テーブルである。
- 【図3】 中古品見積サイトでの通信の様子を表した説明図である。
- 【図4】 見積必要情報入力画面の一例を示す説明図である。
- 【図5】 見積画面の一例を示す説明図である。
- 【図6】 ショッピングサイトでの通信の様子を表した説明図である。
- 【図7】 下取確認画面の一例を示す説明図である。
- 【図8】 購入必要情報入力画面の一例を示す説明図である。
- 【図9】 下取必要情報入力画面の一例を示す説明図である。
- 【図10】 各サイトでの通信の様子を表した説明図である。

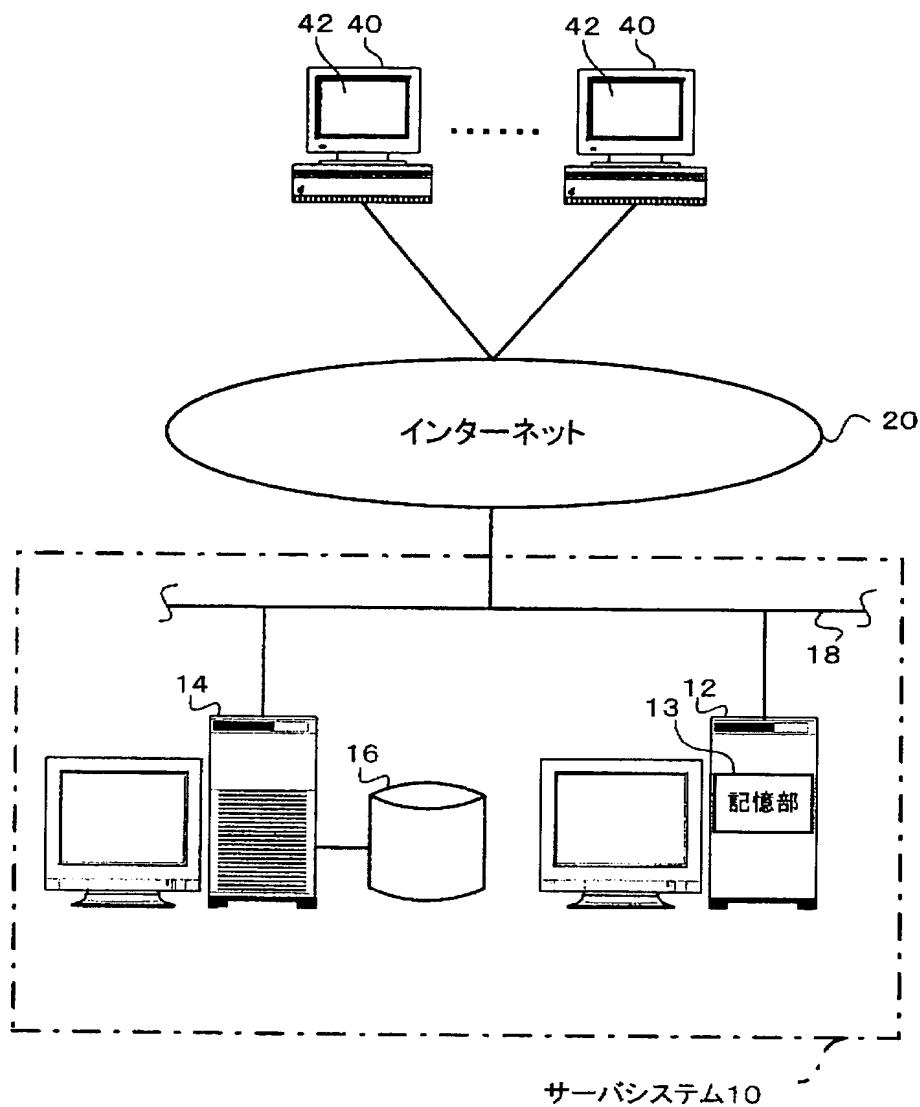
【符号の説明】

10 サーバシステム、12 ウェブサーバ、13 記憶部、14 データベースサーバ、16 データ記憶装置、18 ネットワークケーブル、20 インターネット、40 ユーザコンピュータ、42 ディスプレイ、Pmax 下取見

積価格の最高値、Pm in 下取見積価格の最低値。

【書類名】 図面

【図1】

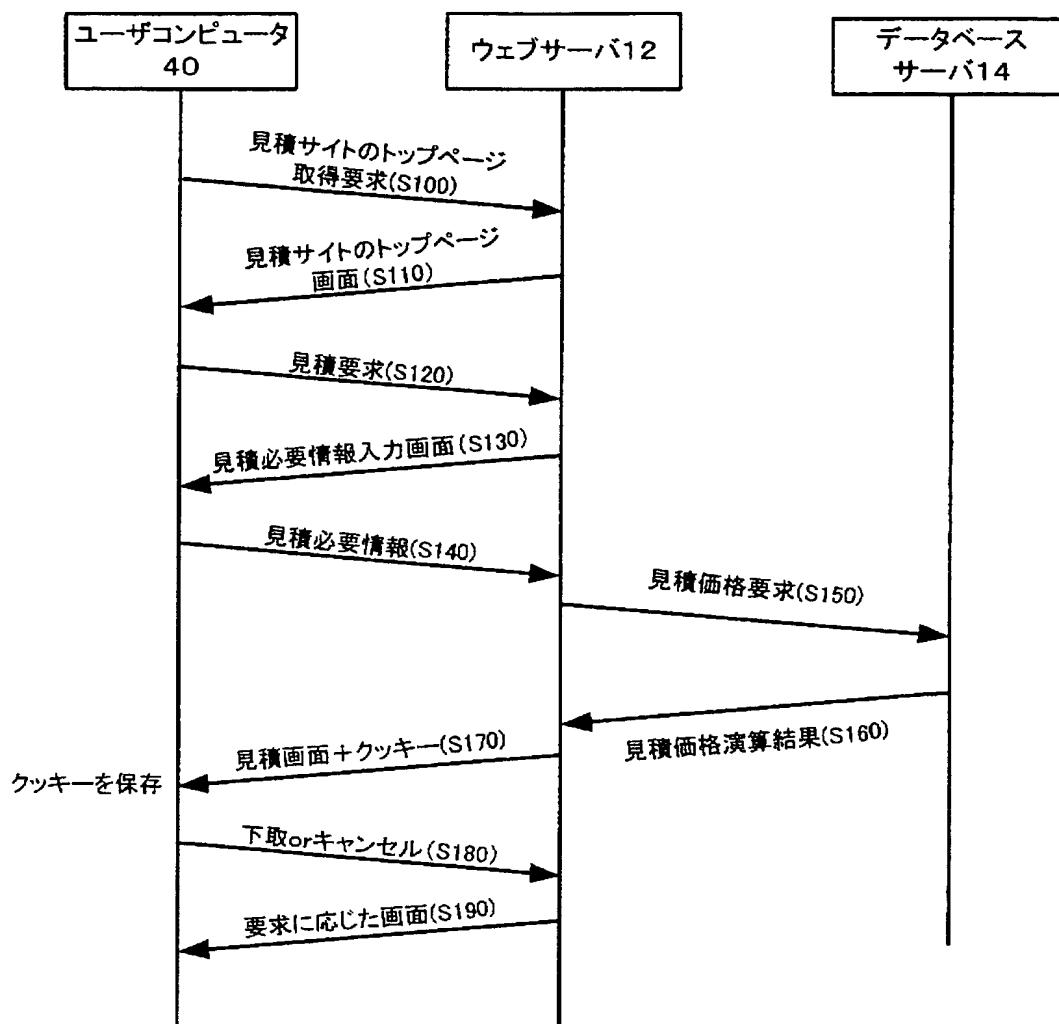


【図2】

部品	種類	価格
CPU	Pentium166MHz以下	¥○○○○
	Pentium2 300MHz以下	¥○○△△
	Pentium2 450MHz以下	¥△△△△
	⋮	⋮
	⋮	⋮
メモリ	なし	¥ ○
	64MB以下	¥□□□
	128MB以下	¥□□△
	⋮	⋮
	⋮	⋮
HDD	なし	¥ ○
	10GB以下	¥×××
	40GB以下	¥××△
	⋮	⋮
	⋮	⋮

※)Pentiumはインテル社の登録商標

【図3】



【図4】

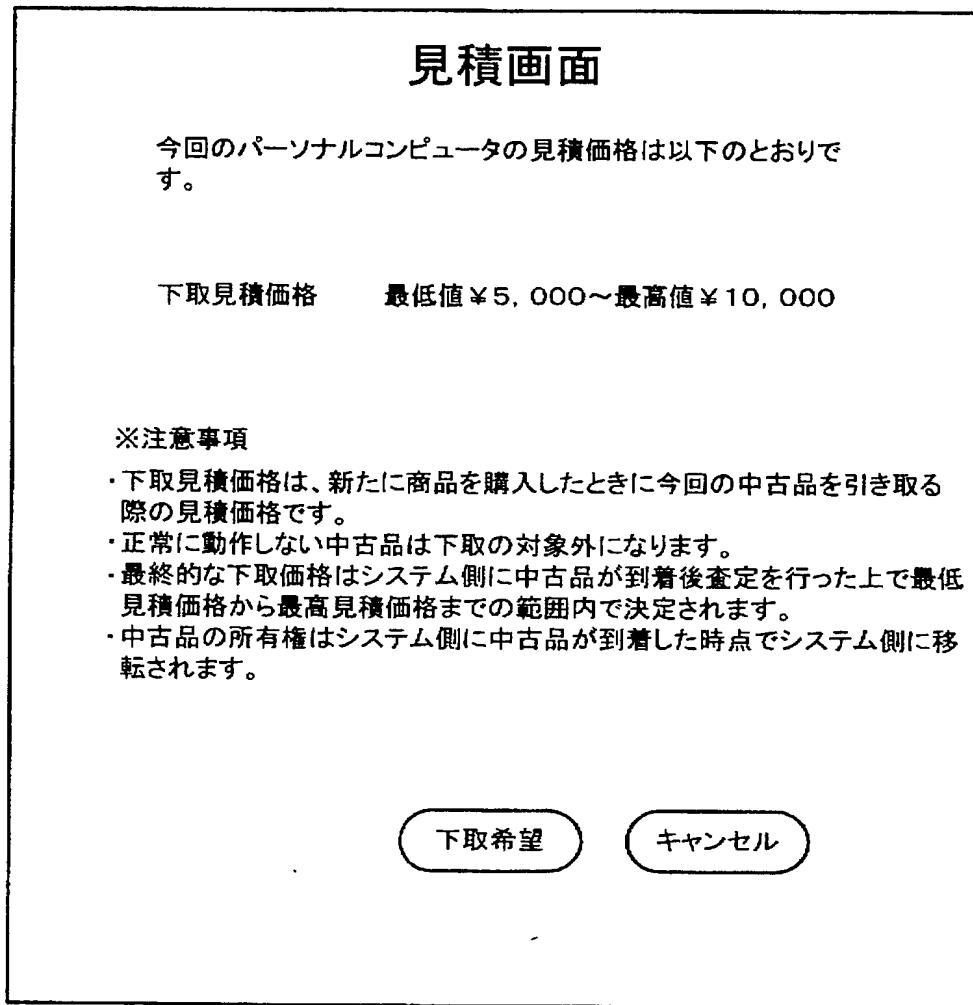
見積必要情報入力画面

パソコンの構成を入力してください。

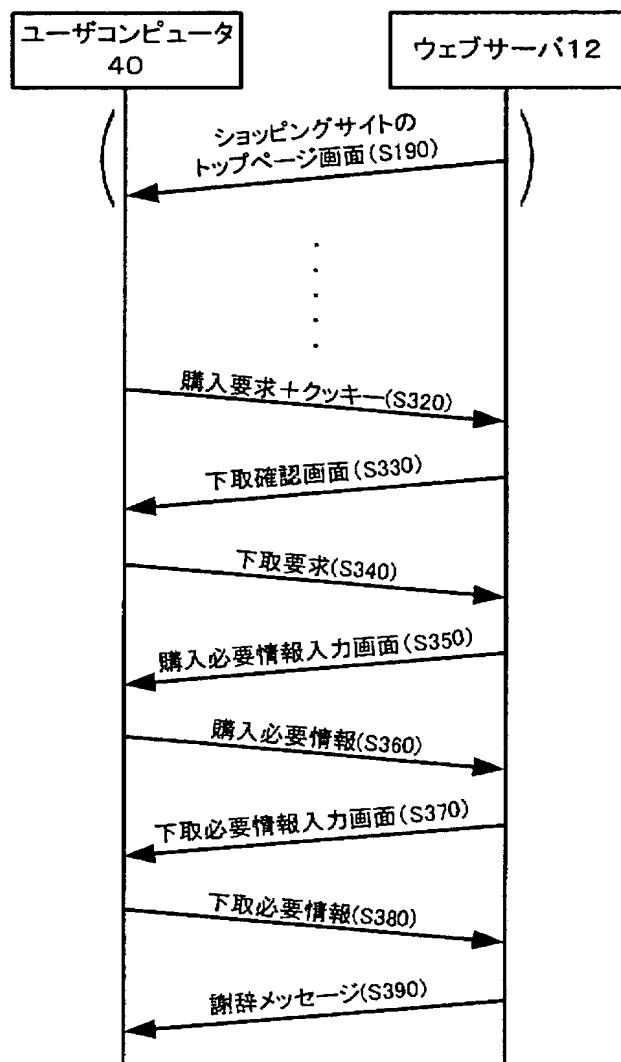
CPU	<input type="text"/> ▼
メモリ	<input type="text"/> ▼
HDD	<input type="text"/> ▼
CD-ROM	<input type="text"/> ▼
FD	<input type="text"/> ▼
LANカード	<input type="text"/> ▼
マニュアル	<input type="text"/> ▼
梱包箱	<input type="text"/> ▼

OK

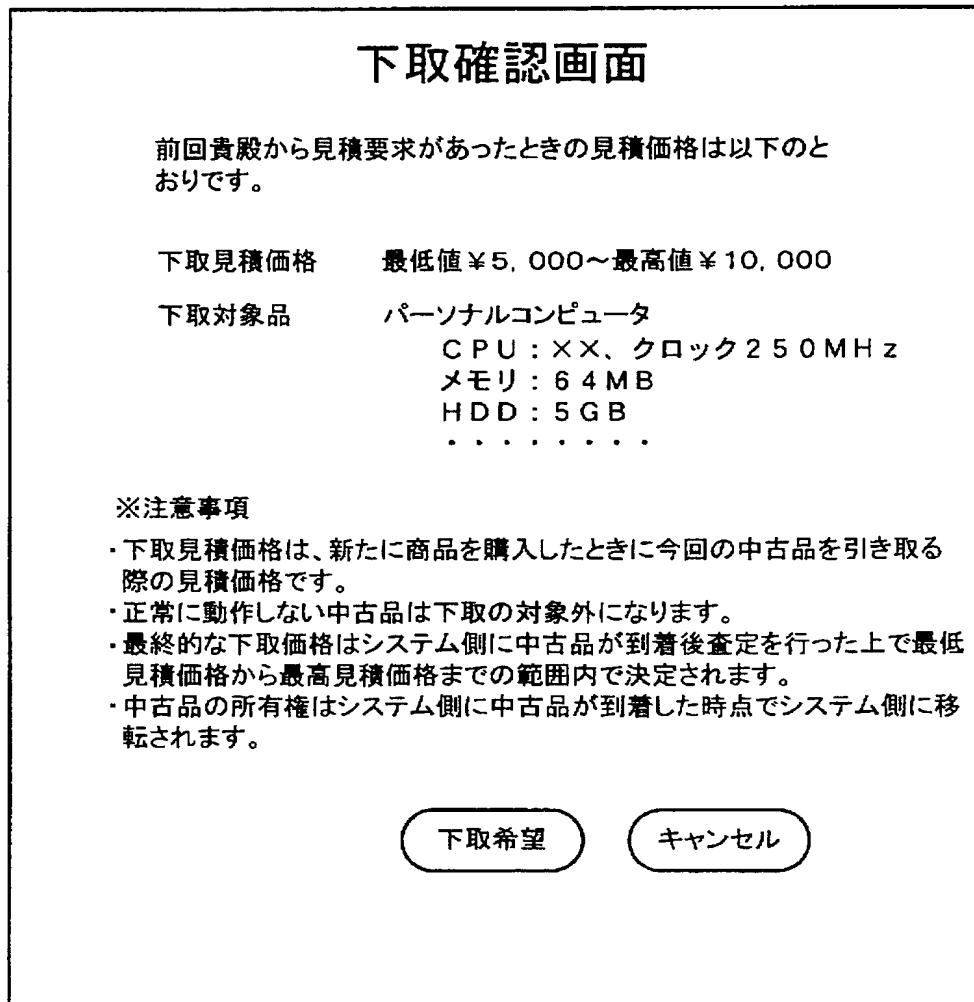
【図5】



【図 6】



【図 7】



【図8】

購入必要情報入力画面

ユーザの住所

ユーザの氏名

ユーザの電話番号

ユーザのメールアドレス

商品の配送先住所＝ユーザの住所？ はい いいえ

商品の配送先住所

商品の配送先電話番号

商品の配送日時

【図9】

下取必要情報入力画面

中古品のピックアップ先住所＝ユーザの住所？ はい いいえ
中古品のピックアップ先住所＝商品の配送先住所？ はい いいえ

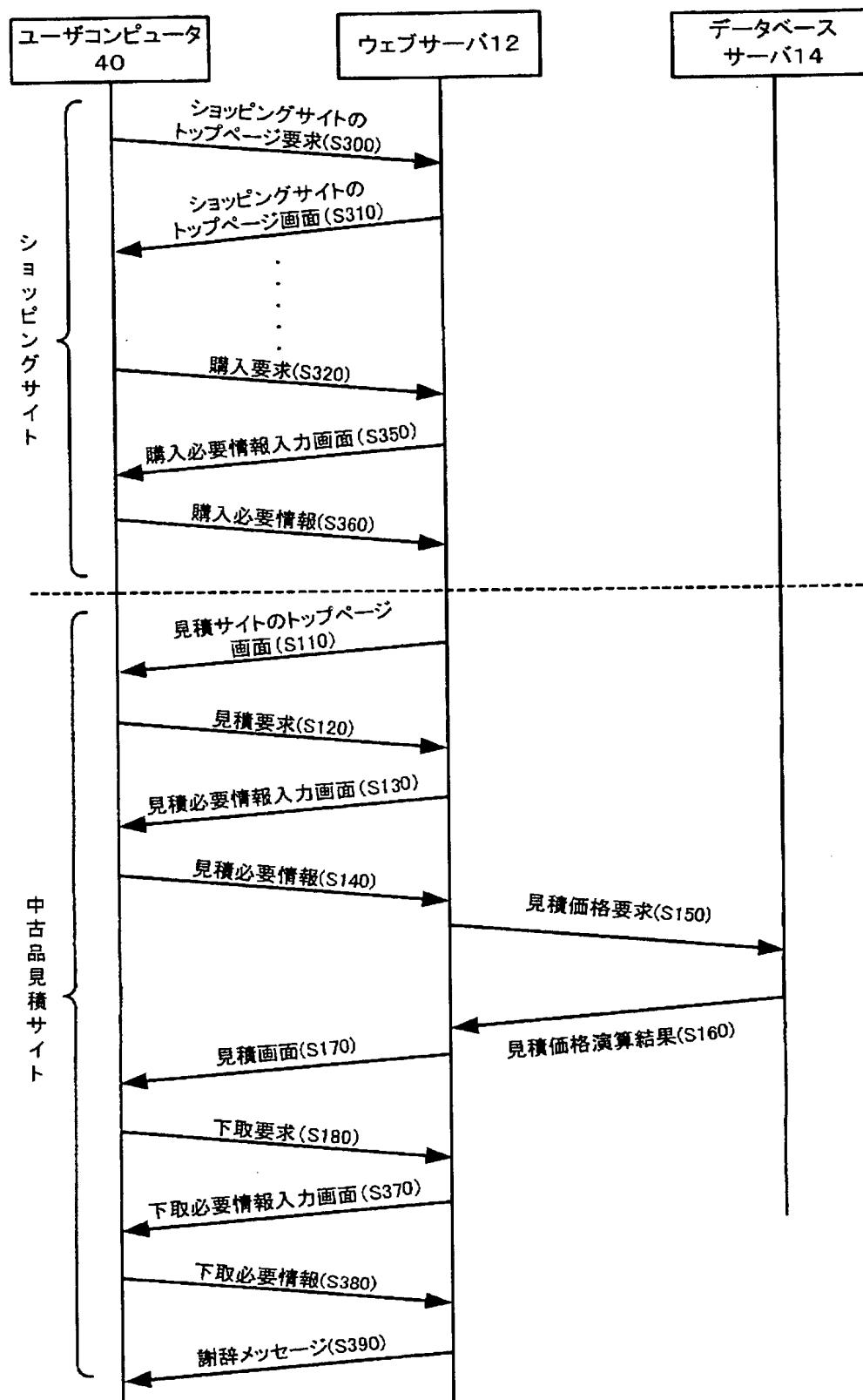
中古品のピックアップ先住所

中古品のピックアップ先電話番号

中古品のピックアップ日時

中古品下取金額の送金先

【図10】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 中古品を下取ってもらう際にユーザが何度も同じ情報を入力する必要がない。

【解決手段】 ユーザコンピュータ40と通信可能でありユーザから中古品を下取る際に利用される中古品見積サイトとユーザが商品を購入する際に利用されるショッピングサイトとを開設するサーバシステム10であって、中古品見積サイトでユーザコンピュータ40から中古品の下取見積要求に関する情報を受信したあとショッピングサイトでユーザコンピュータ40から商品購入手続に関する情報を受信したときには、ユーザコンピュータ40に中古品の下取見積要求に関する情報の再入力を要求することなく下取手続を進める。

【選択図】 図1

特願2002-286001

出願人履歴情報

識別番号 [000002369]

1. 変更年月日 1990年 8月20日

[変更理由] 新規登録

住所 東京都新宿区西新宿2丁目4番1号

氏名 セイコーエプソン株式会社